SID 60th YEAR

DISPLAY WEEK
SAN JOSE 2022

インサイド・ディスプレイウィーク2022

第３号 | ２０２２年夏

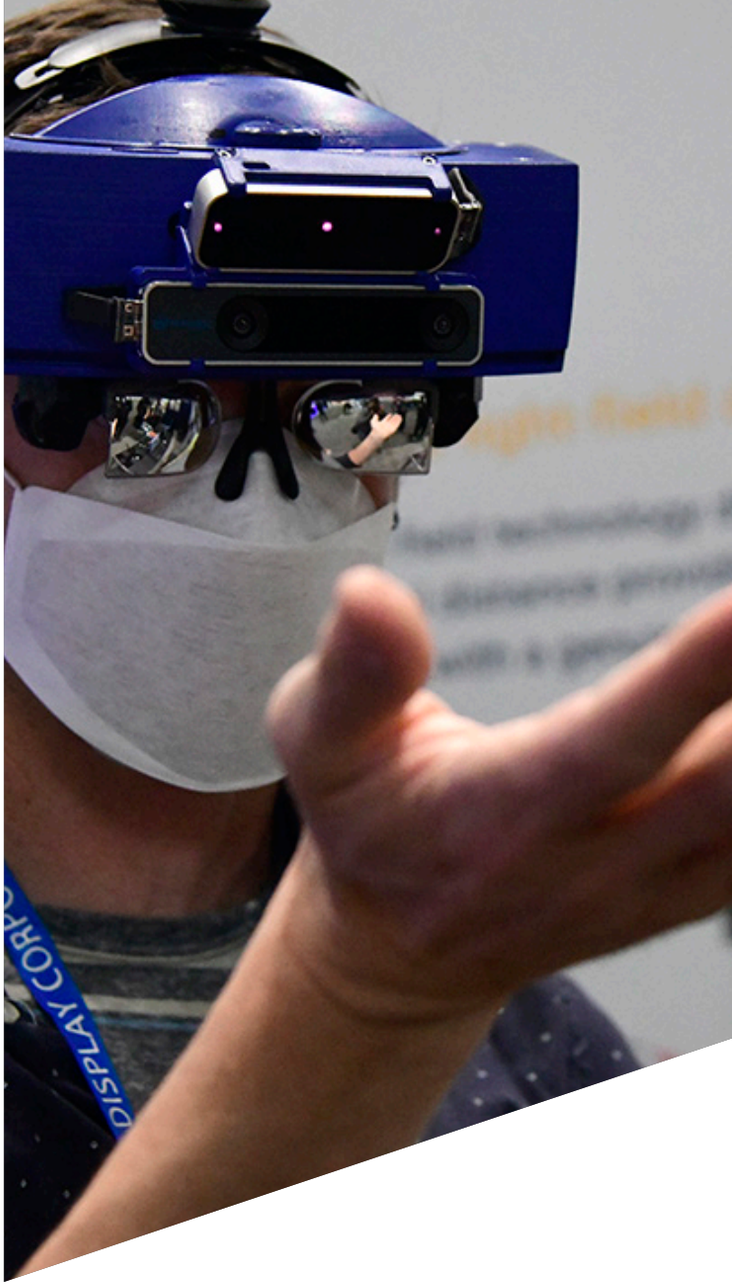
功を奏したディスプレイウィーク2022

ディスプレイウィーク2022は、サンノゼコンベンションセンターにて7,500人以上の参加者、そして150社を超える出典団体を迎え、実に3年ぶりとなるオンサイト開催を実現することができました。会場では、世界が待ち望む

最新・最高の技術や製品が紹介され、業界の著名人や伝説的なパイオニアを取り上げた国際技術シンポジウム、基調講演、ビジネスカンファレンス、特別企画等のイベントに世界中の聴衆が魅了されました。

情報ディスプレイ学会会長のアチン・ボウミック氏は、「参加者だけでなく、ディスプレイ業界全体から、今まで以上に大きな賛辞を頂き、とても感謝しています。また、150以上の展示団体が三年越しの対面開催に足を運び、技術シンポジウムのプレゼンター、基調講演者、特別フォーラムのパネリストの方々も、SIDの60周年を記念したこの歴史的なイベントに迷わず参加してくれました。」と語ります。

続けて彼は「また今回、業界にとって非常に重要な多面的な現場体験を提供することができ、とても嬉しく思っております。加えてコロナ禍の影響により、世界中同僚や会員が自由に渡航できない状況にあること考慮し、ディスプレイウィーク2022は、参加者が遠方からも現場の熱気を体験できるよう、バーチャル開催も並行しました。」と語りました。



ディスプレイウィーク2022にて開催された、第59回国際シンポジウム、セミナー及び展示会では、業界の期待値を上回るほどのものが提供されました。また、コンフォーマブル・ウェアラブル・ディスプレイ、超臨場感ディスプレイ（AR/VR/MR）、ディスプレイ向け機械学習、屋外ディスプレイなど、ディスプレイ業界の新しい分野と新技術への成長を反映した多くの新トピックに焦点を当てた技術シンポジウムには、何千人もの参加者が集まりました。

さらに基調講演では、LG ディスプレイ、Meta Reality Labs、BOEで活躍する先進的なビジネスリーダーを招き、今日のトップテクノロジーやアプリケーションの現状、業界が次に目指す方向性などに関する洞察を語っていただきました。

そしてSID/DSCCビジネスカンファレンスでは、テレビ、スマートフォン、ITディスプレイ、AR/VRの技術

や市場の展望について学べる機会が与えられました。マーケットサプライチェーンアプローチを採用したカンファレンスとしては最大規模であるこのカンファレンスでは、実に一週間の間、豊富な学習の機会が提供されました。加えて、Women in TechとCEOフォーラムのパネルディスカッションでは、世界的に有名なビジネスリーダーによる、変化し続ける業界で勝ち残るためのアドバイスや、洞察、そして個人的な経験などが共有されました。

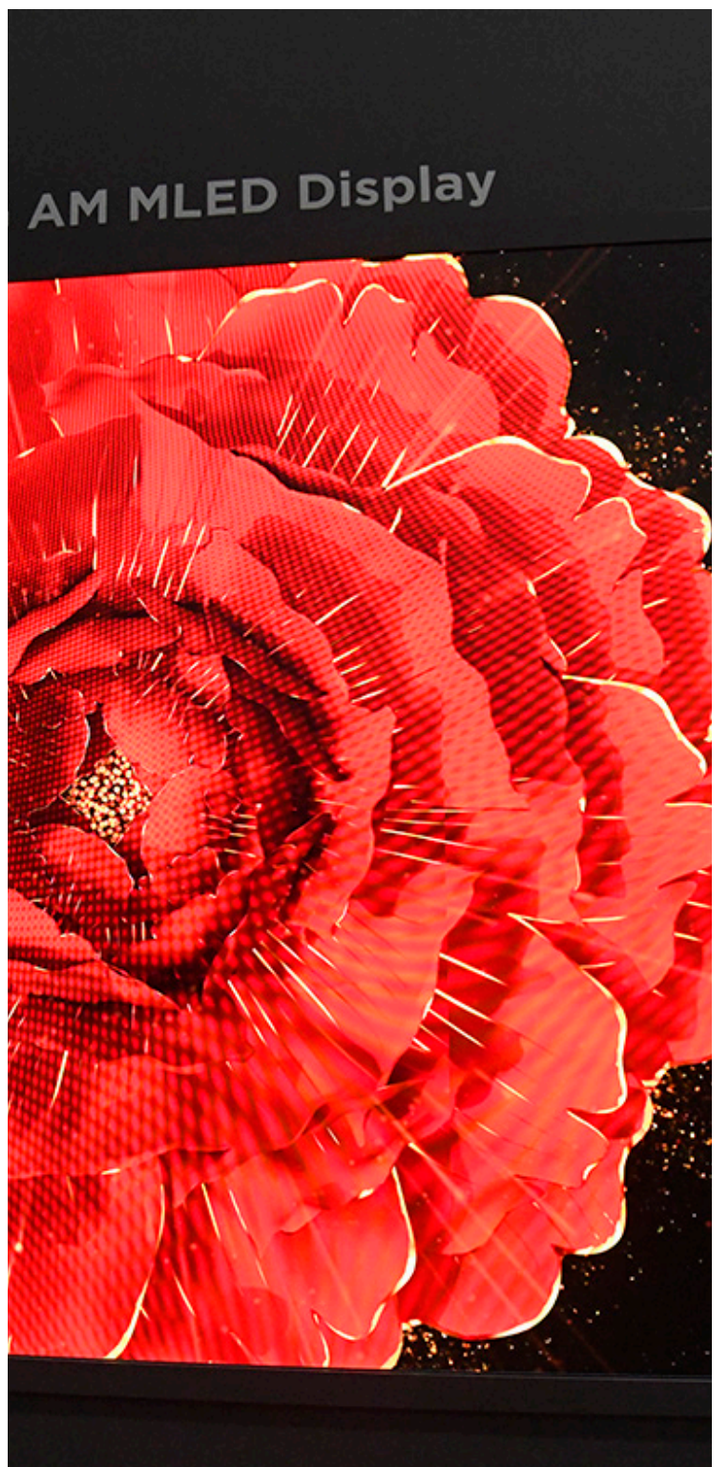
60年にわたり電子情報ディスプレイ産業の発展に尽力し、業界の礎として貢献してきたSIDを記念して、ディスプレイウィーク 2022では、様々な特別イベントやネットワーキング・イベントが催されました。

加えて参加者は、お気に入りの展示ブースやデモに投票する機会が与えられているピープルズ・チョイス・アワードだけでなく、スタートアップや大学・研究機関による最新製品・技術が披露されたI-Zoneのベストプロトタイプ賞授与式でもその熱気を分かち合う機会が与えられました。

そして何より、参加者は2022年9月13日までディスプレイウィーク・オンデマンドに ログインすることができ、もう一度当イベントをお楽しみ頂けます。

ディスプレイウィーク2023は5月21日～26日にまたロサンジェルスにて開催されます。皆様のご来場をお待ちしております。

ラデュ・リート博士
情報ディスプレイ学会
マーケティング部門代表



今こそディスプレイウィーク2023の予約をする時！

ディスプレイウィーク2023は、5月21～26日まで米国カリフォルニア州ロサンゼルスにて開催されます。世界を牽引するトップ企業の電子ディスプレイ設計担当者、開発担当者、エンジニアリング担当者及び意思決定者、加えてバリューチェーン全体から数千人規模のエンドユーザーが集まり交流がもたれる類稀なマーケティング機会です。企業の大小に関係なく、業界トップの経営者、役員、副社長、高位幹部に対して、自社の最新技術、デバイス、能力をブランディングし、アピールすることができる絶好のチャンスを是非ご利用ください。

ディスプレイウィーク 2022に参加した出展者の生の声を紹介します。

「参加者はとても多かったです。ディスプレイ・ウィークは、数あるディスプレイ業界のイベントの中でも、つながりを作れる、秀でて素晴らしいイベントです。業界の最先端を見ることができたり、主要企業の要人に会えたり、そして彼らに直接製品を見せることができるのですから。」

- Samsung Displayチラグ・シャー氏

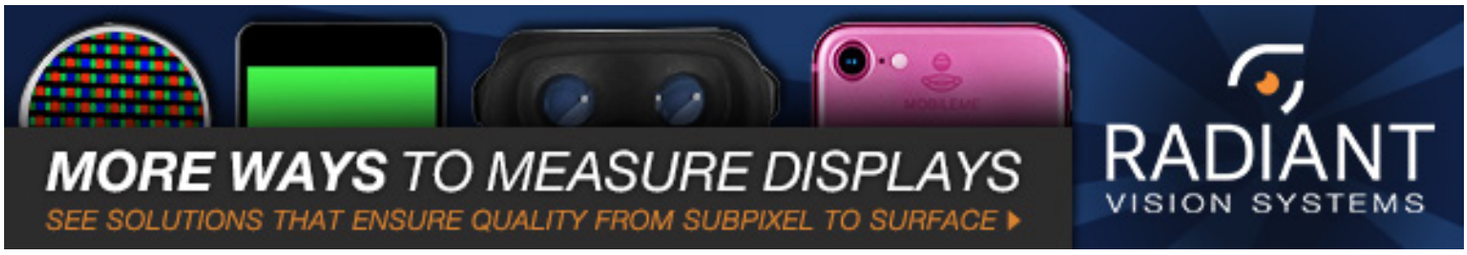
私と私のチームにとって、素晴らしい経験となっています。新しい顧客と接することができ、足を運んでくれる多くの参加者と関係を作れることはとても重要です。

- Corning Incマーク・クロール博士

ディスプレイウィークは私たちにとって最高のイベントです。なぜなら私たち露出度をたかめられるからです。

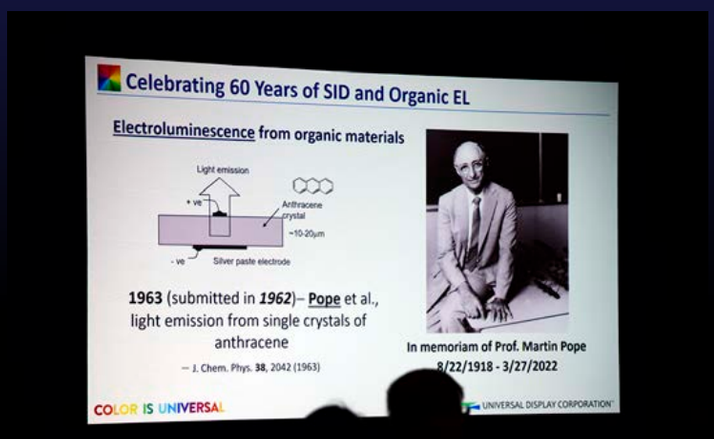
- TCL CSOT North America、カール・ステュードル氏

例年展示枠はすぐに定員に達してしまうので、早めの申し込みをお勧めいたします。詳しくは、ウェブサイトをご覧いただくか、Julia Son: 408-879-3901, julia@sid.org までお問い合わせください。



過去を称え、未来を祝う。

60年前に結成された情報ディスプレイ学会は、電子ディスプレイ産業の発展を目的とした最も古く、最も著名な会員制組織です。その一年後、第1回ディスプレイウィーク・国際 シンポジウム・展示会が開催されました。学会において重要な節目を祝うのに、ディスプレイウィークほどふさわしい場はないでしょう。



“60年に渡った業界への貢献”と題された特別セッションやネットワーキング、音楽、笑いに溢れた記念ディナーでは、国際的なビジネスリーダー、業界パイオニア、そして歴代のSID役員が主体となって会場を盛り上げました。また参加者はディスプレイウィーク初の試みである行われたスカベンジャーハントや、業界の技術発展の軌跡を扱ったポスタープレゼンテーションなどを体験する機会も与えられました。

SIDの活躍の内容は、IDマガジンの記事に詳しく紹介されています。まだ会員でない方は、是非こちらの会員の特典詳細をお読みください。

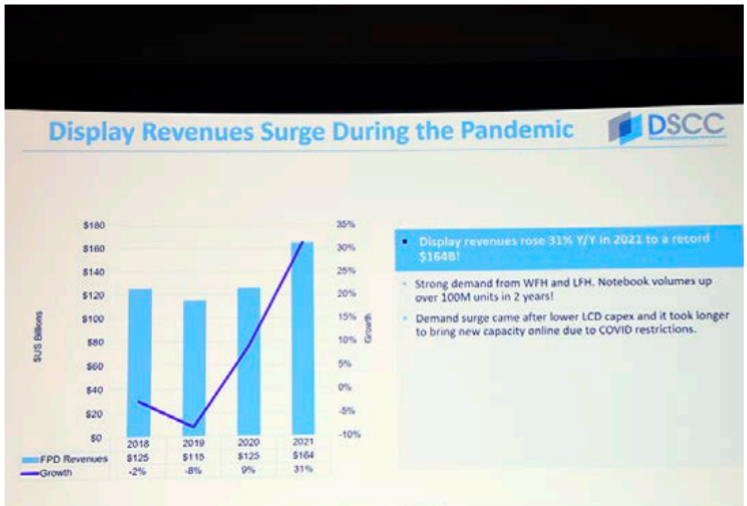
ディスプレイウィーク・
オンデマンドもご利用いただけます！

- 展示会：3M社、BOE社、E Ink 社, Display, Samsung Display 社., TCL CSOT社,Tianma America社, Universal Display社などの名だたる大企業が参加した、最新かつ最高のディスプレイ技術が披露される世界屈指の展示会。出展企業一覧はこちら。

- 国際技術シンポジウム：-AR/VR、有機EL、車載ディスプレイ、フォーダブル・ディスプレイ、フレキシブル・ディスプレイ、電子ペーパー、アクティブマトリクスデバイスなど、様々なテーマに関連した291件のシンポジウム口頭発表、145件のポスター発表、そして世界各国から集まった先駆的な有力論文が取り上げられました。プログラムの詳細はこちら。

- SID/DSCCビジネスカンファレンス：目まぐるしく変化する世界のディスプレイ市場への対応法やそれに必要な洞察と戦略に関するプレゼンテーションが、業界リーダーや市場アナリストによって発表されました。詳しくはこちら。

- 貴重演説：LG ディスプレイ、Meta Reality Labs、BOEの最高幹部職員による躍動的な基調講演「新しい常識とディスプレイ」、「AR/VR用ディスプレイ: 課題と流行」、「IoTの強化とディスプレイ- 未来とその過程」 詳しくはこちらから。



- 特別イベント：CEOフォーラム（「ミニ, マイクロ, メタ」）やWomen in Tech（「転機: 挫折を乗り越えて」）など、世界のトップビジネスリーダーの知見が紹介されました。

- セミナー/ショートコース：知識の向上、スキルの研磨、加えてキャリアアップにもつながる、ICDMディスプレイ計測トレーニングコースと15のセミナー、そして5つのショートコース。

オリジナルコードを使ってディスプレイウィーク・オンデマンドにログインし、是非ディスプレイウィークの特典をお楽しみください！

答えはYES一択！

ヤング・エンジニアーズ・スポットライト (YES) イニシアチブは、現場での経験が浅い駆け出しの業界人の皆様にとって、業界のリーダーや世界中の志を同じくする専門家とつながる特別な機会です。視野を広げ、キャリアを開発し、グローバルなディスプレイ・コミュニティとネットワークを築けるこのイベントにぜひご参加ください。

詳しくは、こちらの動画をご覧いただくか、我々のウェブサイトをご覧ください。

受賞者の紹介

ディスプレイウィークでは、革新と情報、そしてインスピレーションが披露される世界的なトレードショーのみならず、優れた業界への貢献を称え受賞を行うフォーラムを開催しています。改めて、各受賞者の功績をここに称え、心からのお祝いを申し上げます。

2022年 ディスプレイ・インダストリー・アワード

ディスプレイ・インダストリー・アワード（DIA）は、ディスプレイ技術の最先端を行く技術革新に焦点を当て、3つのカテゴリーでの表彰を行います。「年間最優秀ディスプレイ賞」「年間最優秀ディスプレイアプリケーション賞」「年間最優秀ディスプレイコンポーネント賞」の3つがそのカテゴリーです。受賞者は、著名な専門家パネルによる、技術革新、商業的意義、社会的好影響の潜在性の度合いを基準にした評価によって選定されます。

DIA委員会の委員長であるウェイ・チェン氏は、「私たちは、ディスプレイ産業から生み出される幅広い継続的な技術の革新を目の当たりにしています。そのうちの一つであるminiLEDバックライト技術は、電子タブレットやノートパソコン、液晶テレビにおけるLCDの性能の向上に役立っています。それだけでなく、フォーダブルディスプレイの技術も急速に進歩しています。

加えて、高精度反射型偏光板や空気安定性クオンタム・ドットなどのディスプレイ部品の技術革新は、それぞれ高性能VRディスプレイの成長とテレビ用のクオントム・ドットの利用拡大を飛躍させると期待されています。今年のアワードは、

ディスプレイ・オブ・ザ・イヤー

この賞は、最も技術的な進歩や優れた機能を持つディスプレイ製品に授与されます。

Apple 社:
iPad ProとMacBook Proに搭載されたLiquid Retina XDR ディスプレイ

Samsung Display 社:
Eco2 OLEDが搭載されたフォーダブル・ディスプレイ

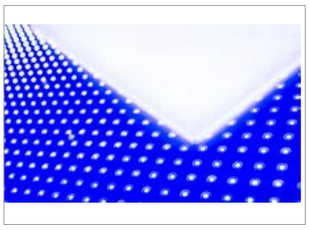
年間最優秀ディスプレイコンポーネント賞

この賞は、ディスプレイの性能を著しく向上させた斬新なコンポーネントを表彰するものです。コンポーネントとは、ディスプレイに組み込まれることを前提に製造された別個に販売される部品を指します。また、ディスプレイの性能を向上させる材料や新しい工程を経て製造された部品なども含まれます。

3M:
高精度反射型偏光（HARP）レンズ

BOE Technology Group:
86inchチップオングラス型アクティブマトリクス方式ミニLEDバックライトユニット

Nanosys 社:
空気安定性量子ドット搭載xQDEFディフューザープレート



電子ディスプレイが自動車にもたらす体験の向上や、映画やテレビの仮想制作環境を実現するLEDディスプレイの革新的な利用に特に注目しました。」と語りました。

各受賞者の詳細はこちらから

年間最優秀ディスプレイアプリケーション賞

この賞は、新鮮で斬新的なディスプレイアプリケーションを認め称える賞です。

メルセデスベンツ:
メルセデスベンツMBUX Hyperscreen

Sony PCL, Sony Co., and Sony Innovation Studios:
Crystal LEDバーチャルプロダクションシステムソリューション

2021I-ZONE・アワード

I-Zoneは、中小企業、スタートアップ企業、研究所、大学などには、ディスプレイウィークにて試作品やハードウェアのデモユニットを無料で実演する機会を提供し、参加者には業界最高峰の新興情報ディスプレイ技術の内情を専用のスペースで見ることのできる機会を提供しています。

I-Zoneの詳細はこちらから

I-Zone

最優秀プロトタイプ賞

Porotech 社,

革新的なモノリシックインガン層を利用した色調調整を実現。

受賞者

6P Color 社

マルチプライマリーディスプレイのための拡張色空間を抽出する革新的なアルゴリズム。

2022年ピープルズ・チョイス・アワード

ピープルズ・チョイス・アワードは、参加者が展示会場で最も優れていると考えた技術、部品、デモンストレーション、対話型ブースに投票するものです。投票は、ディスプレウィーク期間中に電子アンケートによって集計されました。

最優秀技術デモンストレーション賞

BOE Technology Group 社

17.3インチ・フォーダブル有機ELノートパソコン

メルセデス・ベンツ：

メルセデス・ベンツ エクスペリエンス（MBUX）ハイパースクリーン

最優秀最新ディスプレイ技術賞

eMagin 株式会社,

ダイレクトパターン方式OLED -単層10,000ニット

PlayNitride 社,

0.49インチ・フルカラーμ-pixeLED マイクロLEDディスプレイ

最優秀最新ディスプレイコンポーネント賞

Samsung Display

QD-Display

最優秀ラージブース賞

今回は、150社、1,900名から8,500票以上の投票がありました。

ドシ氏は、「2022年のディスプレイ・ウィークは、コロナ禍前の水準まで参加者が戻ってきました。展示会場はイノベーションで溢れ、出展企業や参加者は世界中から集まりました。ディスプレイウィーク2022のピープルズ・チョイス・アワード受賞者全員にお祝いを申し上げます。」と話しました。

BOE Technology Group社

LG Display社

Samsung Display 社

TCL China Star Optoelectronics社

最優秀ミディアムブース賞

PlayNitride
AUO

最優秀スモールブース賞

AGC Plasma Technology Solutions

2022 SID栄誉賞

情報ディスプレイ学会は、業界の中心に立って、60年にわたりディスプレイ技術の支援、進歩、普及に務めてきました。私たちを取り巻く世界が変化し続ける現代において、生活、仕事、遊びのあり方に大きな影響を与えた個人や団体・組織の重要な貢献をこのような形で称えることができることを光栄に思います。

Karl Ferdinand Braun 賞

ウェイ・チェン

ジョーン・ツォン

Jan Rachman賞

受賞者とその重要な功績の詳細
はこちらから

ジン・ジャン

David Sarnoff 産業貢献賞

サンドク・ヨ

Peter Brody賞

井手啓介

Slottow–Owaki賞

内藤裕義

Otto Schade賞

クリタ・タイイチロウ

Lewis and Beatrice Winner賞

ストリアム（スリ）・ペルブンバ

ディスプレイウィーク
2023開催日のお知らせ

DISPLAY WEEK
LOS ANGELES 2023

ディスプレイウィーク2023
ロサンジェルス、コンベンションセンター
2023年5月21－26日

ディスプレイウィーク2023の最新情報は、メールマガジン（登録が必要）と我々のウェブサイトにてご確認いただけます。

Connect with Us!

#DisplayWeek2022　@DisplayWeek2022

Display Week 2022 Sponsors

BOE

3M　CORNING　TCL CSOT　E ink

EMD Electronics　LG Display　Microsoft　MICROLED-info

SIDとは

Society for Information Display（SID）は、電子ディスプレイおよび視覚情報技術産業に焦点を当てた唯一の専門組織です。実際、SIDは、電子ディスプレイと視覚情報技術の進歩に専念することにより、業界最高の新製品を紹介しながら、すべての関連技術における業界コラボレーション、コミュニケーション、トレーニングのためのユニークなプラットフォームを提供します。この組織のメンバーは、ディスプレイの研究、設計、製造、アプリケーション、マーケティング、販売に関連する技術およびビジネス分野の専門家です。産業および学術技術の開発を促進し、ディスプレイの重要性を消費者に教育するために、SIDはディスプレイウィークを含む年に10回以上のカンファレンスを開催します。SIDのグローバル本社は1475 S. Bascom Ave.、Ste。114、キャンベル、CA 95008。詳しくは、www.sid.orgにて。

1475 S. Bascom Ave. # 114
Campbell, CA 95008-4006 USA
(408) 879-3901

Privacy & Security | Terms & Conditions

You’re receiving this email because you’ve signed up to receive updates on SID. If you’d prefer not to receive updates, you can unsubscribe.

FOLLOW US

© Copyright 2011-2022 SID - All rights reserved.